



WB1F 形固定式 1 次元 CCD スキャナ

WB1F Support Tool ユーザーズマニュアル



はじめに

本マニュアルは、WB1F形固定式1次元CCDスキャナのサポートツール「WB1F Support Tool」のユーザーズマニュアルです。なお、「WB1F Support Tool」は、何等保証もない現状有姿のまま提供されるものです。さらに、IDEC 株式会社（以下、「IDEC」といいます）は、商品性、特定目的への適合性を含む一切の明示・黙示の保証をいたしかねます。お客様がこのソフトウェアの運用または機能から受けた影響については、お客様が負うものです。IDECは、いかなる場合においても、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じるあらゆる損害（派生損害、間接損害、付随的損害、特別損害、逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失またはその他の金銭的損失を含みますがこれらに限定されません）に関して一切責任を負いません。たとえ、IDEC がこのような損害の可能性について知らされていた場合でも一切責任を負いません。

本マニュアルをよくお読みいただき、「WB1F Support Tool」の仕様をご理解のうえ、正しくご使用くださいますようお願いいたします。

ご注意

- ・ 本書に関するすべての権利は、IDEC 株式会社に帰属しています。弊社の承諾なしに無断で複製、転載、販売、譲渡、賃貸することはできません。
- ・ 本書の内容については、将来予告なく変更することがあります。
- ・ 製品の内容につきましては万全を期しておりますが、ご不審の点や誤りなど、お気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店または弊社営業所までご連絡ください。

使用条件

ソフトウェアユーザーライセンス契約

重要ー以下のライセンス契約を注意してお読みください。

本契約は、入手いただきました本件ソフトウェア製品（以下、「本件ソフトウェア」といいます）に関してお客様（個人又は法人のいずれであるか問いません）と IDEC 株式会社（以下、「IDEC」といいます）との間で締結される法的な契約です。

本件ソフトウェアには、コンピュータソフトウェア及びそれに関連した媒体、並びに印刷物（マニュアルなどの文書）、「オンライン」または電子文書を含むこともあります。本件ソフトウェアをインストール、複製又は使用することによって、お客様は本契約の条項に同意したものとみなします。本契約の条項に同意されない場合、IDEC は、お客様に本件ソフトウェアのインストール、使用又は複製のいずれも承諾できません。

1. 適用範囲

お客様が、本件ソフトウェアを使用する場合に適用される条件は以下の通りです。

- （１）IDEC は、無償で本件ソフトウェア及び付属文書を使用する非独占の権利をお客様に付与します。
- （２）お客様は、本件ソフトウェアの破損又は損失の危機から保護するために、バックアップコピーを作成することができます。
- （３）お客様は、本件ソフトウェア及び取扱説明書等の一部若しくは全部又はそれらの複製物を、第三者に譲渡、貸与、販売、その他の方法で使用させることはできません。
- （４）IDEC は、本件ソフトウェアについて、欠陥の不存在、適合性、動作性、有用性、権利侵害不存在等の一切を保証するものではありません。また、IDEC は、本件ソフトウェアについて、お客様又は第三者に対して、信頼の損失、業務の停止、ハードウェアの故障、その他商業的な損害等の直接または間接を問わず、あらゆる種類・性質の損害に対して一切責任を負わないものとします。

2. 禁止事項

2. 1. 本件ソフトウェアを、本契約で規定されている場合を除き、複製、公開、配布、転載、解析、改変、改ざん、翻訳、翻案、加工、第三者への転用・譲渡・貸与・使用許諾、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、又は逆アセンブルすることを禁止します。
2. 2. 本件ソフトウェアを営利目的で使用することを禁止します。
2. 3. 本件ソフトウェアを利用して違法または不当な行為を行うことを禁止します。
2. 4. 本件ソフトウェア又はそれに内在する情報若しくは技術は、（１）イラク、リビア、朝鮮民主主義人民共和国、イラン又はその他輸出が禁止されている国々、（２）輸出が禁止された者へ輸出、再輸出、インストール又はダウンロードは行わないものとします。

2. 5. お客様が本契約または禁止事項に違反し、弊社に損害を与えた場合、弊社は当該利用者に対してその損害の賠償と回復措置の請求ならびに、本件ソフトウェアの回収等の処分を行うことができるものとします。

3. 雑則

3. 1. 本件ソフトウェア及びその複製物に関する所有権、知的財産権、著作権その他すべての権利は、IDECに留保されます。本件ソフトウェアは、適用される著作権法及び国際著作権条約により保護されます。
3. 2. お客様自身の責任において、本件ソフトウェアをインストールする環境を事前に確認し、バックアップをとるなどデータ保全を十分に行うものとします。
3. 3. 本契約は両当事者間の本件ソフトウェアに関する使用許諾について完全な合意を定めたものであり、あらゆる合意及び表明にかわるものです。本契約は、両当事者により締結される書面によってのみ修正されます。
3. 4. 本契約は、日本法を準拠法といたします。

バージョンアップ情報

WB1F Support Toolに新しい機能が追加されました。Software VersionとDatabase Versionをご確認のうえ、ご使用ください。バージョン取得方法は、「[7.5ヘルプ](#)」の「[7.5.2バージョン情報](#)」を参照してください。

なお、初回リリースバージョンは「Software Version : 1.0.0.0(001.000.00)」、「Database Version : 1.0.0.0(001.000.00)」です。

新規機能	WB1F Support Tool Version	
	Software Version	Database Version
WB1F 形ファームウェア A-002.010.00 対応	001.010.00	001.010.00
WB1F 形ファームウェア A-002.020.00 対応	001.020.00	001.020.00
設定値アップロード、ダウンロードの高速化		
ファームウェア更新の高速化	001.030.00	001.030.00
WB1F 形ファームウェア A-002.030.00 対応		
通信速度 600bps の追加	001.040.00	001.040.00
WB1F 形ファームウェア A-002.040.00 対応		
WB1F 形ファームウェア A-002.050.00 対応	001.050.00	001.050.00

関連マニュアル

WB1F形に関連するマニュアルは、次のとおりです。本書と併せてご覧ください。

型式	マニュアル名称	内容
B-1767	WB1F 形固定式 1 次元 CCD スキャナ サポートツール ユーザズマニュアル(本書)	サポートツールに同梱されています。 サポートツールについて説明しています。
B-1741	取扱説明書	製品に同梱されています。
B-1742	WB1F 形固定式 1 次元 CCD スキャナ ユーザズマニュアル	WB1F 形の概要や機能、基本的な操作方法などについて説明しています。
B-1779	WB1F 形固定式 1 次元 CCD スキャナ PLC 接続機能ユーザズマニュアル	PLC 接続機能について説明しています。
B-1781	WB1F 形固定式 1 次元 CCD スキャナ メニューシート	メニューシートについて説明しています。

目次

はじめに.....	2
使用条件.....	3
バージョンアップ情報.....	5
関連マニュアル.....	5
目次.....	6
1. 概要.....	7
2. 使用上の注意.....	7
3. 動作環境.....	7
4. セットアップ.....	8
4.1. インストール.....	8
4.2. アンインストール.....	8
5. 動作確認方法.....	9
6. メニュー項目一覧.....	12
7. メニュー項目別説明.....	13
7.1. ファイル.....	13
7.1.1. 接続設定の読込.....	13
7.1.2. 接続設定の保存.....	13
7.1.3. 終了.....	13
7.2. 機能.....	13
7.2.1. 接続設定.....	13
7.2.2. 制御コマンド.....	14
7.2.3. 設定変更.....	16
7.2.4. ファームウェア更新.....	19
7.3. ウィンドウ.....	20
7.3.1. コンソール.....	20
7.4. 言語.....	21
7.4.1. 日本語.....	21
7.4.2. English(英語).....	21
7.5. ヘルプ.....	21
7.5.1. ユーザーズマニュアル.....	21
7.5.2. バージョン情報.....	21
8. トラブルシューティング.....	22
9. 付録.....	25
9.1. アスキーコード表.....	25
改訂履歴.....	26

1. 概要

サポートツール「WB1F Support Tool」は、WB1F 形の各種設定、動作確認を行うためのソフトウェアです。

2. 使用上の注意

正しくお使いいただくために、以下のことに注意して操作してください。

■WB1F 形と WB1F Support Tool を接続時は、WB1F 形の電源を OFF しないでください。WB1F Support Tool が強制終了する恐れがあります。WB1F 形と WB1F Support Tool の接続を停止後、WB1F 形の電源を OFF してください。

■WB1F 形と WB1F Support Tool を接続時は、パソコンをスリープモードに入らないようにしてください。WB1F Support Tool が強制終了する恐れがあります。WB1F 形と WB1F Support Tool を接続し、長時間放置する場合は、パソコンをスリープモードに入らないように設定してください。

■WB1F Support Tool を複数同時に起動して使用しないでください。正常に動作しない場合があります。

3. 動作環境

WB1F Support Tool の動作環境を示します。

項目	内容
パソコン	PC-AT および互換機
OS	Windows7, Windows8, Windows8.1
CPU	1.0 GHz 以上
メモリ	1 GB 以上
ハードディスク	100MB 以上
画面解像度	XGA(1024x768) 以上
通信ポート	RS-232 ポート (RS-232 タイプを直接接続する場合) USB ポート (USB タイプを接続する場合、 もしくは RS-232-USB 変換ケーブルなどを使用して RS-232 タイプを接続する場合)

※Microsoft、Windows、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1 は、米国あるいはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

4. セットアップ

4.1. インストール

WB1F Support Tool をご使用の際は、インストール作業が必要です。手順は以下の通りです。

圧縮ファイル“wb1f_support_tool_100.zip”をデスクトップなど任意の場所に解凍してください。
解凍後、“wb1f_support_tool_100”フォルダ内の“wb1f_support_tool.exe”をダブルクリックすることで、サポートツールが起動します。フォルダ内のファイルを削除・移動すると、サポートツールが正常に起動しない場合があります。

4.2. アンインストール

WB1F Support Tool がご不要になった際は、アンインストール作業が必要です。手順は以下の通りです。

圧縮ファイル“wb1f_support_tool_100.zip”を解凍して生成されたフォルダ（ファイル含む）をすべて削除してください。サポートツールは、レジストリを使用していないためレジストリを削除する必要はありません。

5. 動作確認方法

WB1F Support Tool でバーコードの読み取りを行ってみましょう。
ここでは購入時から WB1F 形の設定を変えていない状態（工場出荷状態）の例を示しています。
設定を変更している場合、WB1F 形の動作が異なる場合がありますのでご注意ください。

① インターフェイスの確認

WB1F-100S1B (RS-232 タイプ) をご使用の方は、③へ
WB1F-100S1S (USB タイプ) をご使用の方は、②へ

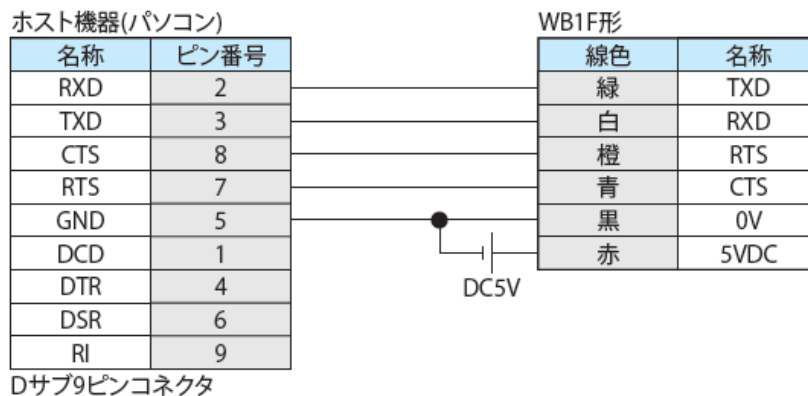
② デバイスドライバーのインストール

WB1F-100S1S を動作させるには、デバイスドライバーのインストールが必要になります。
弊社ウェブサイトより、デバイスドライバーのインストーラをダウンロードし、インストールしてください。
インストーラの詳細は、インストーラに同梱されている Readme をご確認ください。
弊社ウェブサイト URL : <http://www.idec.com/japan>

③ パソコンと接続する

■WB1F-100S1B の場合

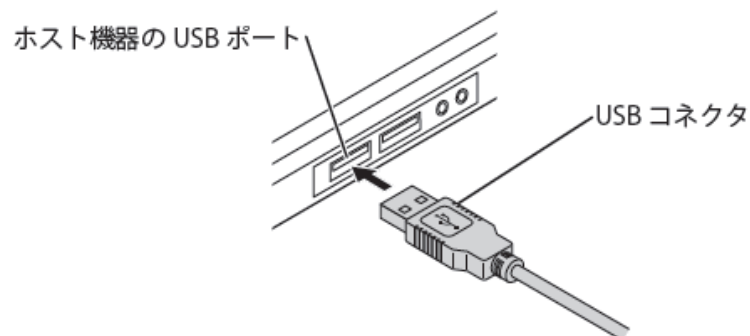
図を参考に配線してください。配線完了後、DC5V 電源を ON してください。
なお、パソコンに RS-232 ポートが搭載されていない場合は、RS-232-USB 変換ケーブルなどをご使用ください。



※ご注意：電源の逆接続は絶対にしないでください。破損の原因になります。配線をする際は、WB1F 形のユーザーズマニュアルをよく読んでから配線作業をしてください。

■WB1F-100S1S の場合

USB コネクタをパソコンの USB ポートに正しい向きでまっすぐ確実に挿入してください。

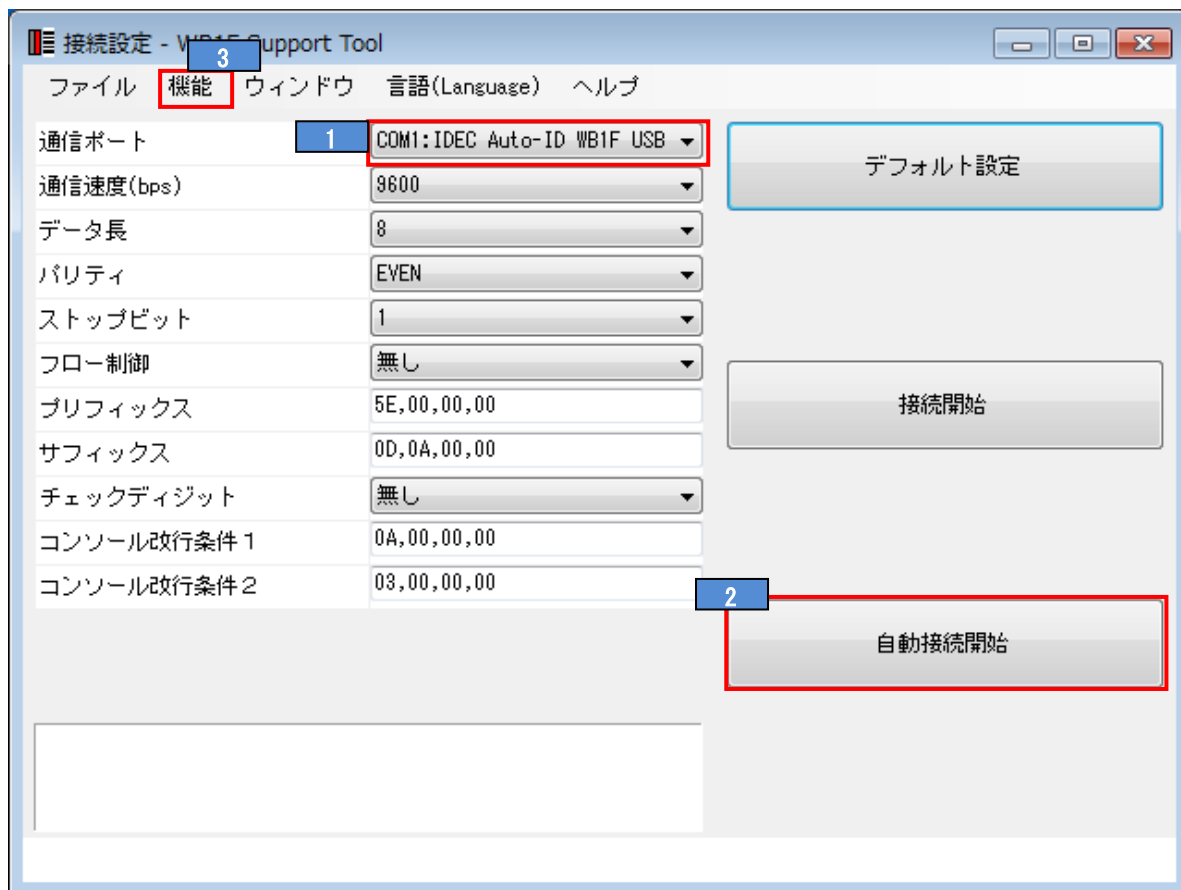


※ご注意：ケーブルを延長しないでください。誤動作や破損の原因になります。

④ WB1F Support Tool の起動

“wb1f_support_tool.exe” をダブルクリックします。
ダブルクリックすると、[接続設定]画面が開きます。

⑤ バーコードの読み取り



1. WB1F 形が接続されている通信ポートを選択してください。

1-1. 通信ポートの確認方法

[Windows7 の場合]

- ① [スタート]ボタンをクリックし、[コンピューター]を右クリックし、表示されたメニューから[プロパティ]をクリックします。
- ② [システム]画面が表示されます。画面上の[デバイスマネージャー]をクリックします。
- ③ [デバイスマネージャー]画面が表示されます。[ポート(COM と LPT)]をダブルクリックします。
- ④ USB タイプの場合、[IDEC Auto-ID WB1F 形 USB CDC (COM**)]と表示されているポート番号を確認します。RS-232 タイプの場合、RS-232-USB 変換ケーブルが接続されているポート番号を確認します。**には、ポート番号が入ります。

[Windows8, 8.1 の場合]

- ① [Windows]キー+[X]キーを押します。
- ② 表示されたメニューから[デバイスマネージャー]をクリックします。
- ③ [デバイスマネージャー]画面が表示されます。[ポート(COM と LPT)]をダブルクリックします。
- ④ USB タイプの場合、[IDEC Auto-ID WB1F 形 USB CDC (COM**)]と表示されているポート番号を確認します。RS-232 タイプの場合、RS-232-USB 変換ケーブルが接続されているポート番号を確認します。**には、ポート番号が入ります。

※1-1. で確認したポート番号が、[接続設定]画面の通信ポートに表示されない場合

WB1F Support Tool を一度閉じて、WB1F 形の電源を入れ直した後、再度 WB1F Support Tool を立ち上げてください。

- 通信ポートを選択後、[自動接続開始]ボタンを押してください。
- 接続完了後、メニューバーから[機能]→[制御コマンド]をクリックしてください。すると、[制御コマンド]画面が開きます。



- [バーコード読取開始]ボタンをクリックすると、WB1F 形が2秒間読取動作状態(投光LEDが光ります)になります。実際にバーコードを読み取ってください。
- 読取結果を表示します。青文字で“要求(パソコン→WB1F 形)”，赤文字で“応答(WB1F 形→パソコン)”の表示です。読み取りに成功すると、“読取結果”が応答として返ってきます。読み取りに失敗すると、“?”が応答として返ってきます。以下に、読取例を示します。

例) ASCII 表示の例

```

^get・↓      バーコード読取開始をクリック
1234567890・↓   バーコード読取結果“1234567890”(読取成功)
^get・↓      バーコード読取開始をクリック
?・↓         バーコード読取結果“?”(読取失敗)
  
```

・↓: アスキーコードの制御文字[CR][LF]を表しています。制御文字を文字で表すことができないため、別の文字に置き換えて表示しています。[LF]のみ”・↓”、[LF]以外の制御文字は”・”で表示します。制御文字を確認する場合は、HEX表示に切り替えてご確認ください。

6. メニュー項目一覧

WB1F Support Tool のメニュー項目一覧を示します。

メニュー項目		内容
ファイル	接続設定の読込	WB1F 形と接続を行うための設定をファイルから読み込みます。
	接続設定の保存	WB1F 形と接続を行うための設定をファイルに保存します。
	終了	WB1F Support Tool を終了します。
機能	接続設定	WB1F 形とパソコンを接続するための設定画面を開きます。
	制御コマンド	WB1F 形に制御コマンドを送信する画面を開きます。
	設定変更	WB1F 形の設定の確認・変更を行う画面を開きます。
	ファームウェア更新	WB1F 形のファームウェアの更新を行う画面を開きます。
ウィンドウ	コンソール	コンソール画面を開きます。
言語 (Language)	日本語	WB1F Support Tool の表示言語を日本語にします。
	English(英語)	WB1F Support Tool の表示言語を英語にします。
ヘルプ	ユーザズマニュアル	ユーザズマニュアル(本マニュアル)を開きます。
	バージョン情報	バージョン情報を表示します。

7. メニュー項目別説明

7.1. ファイル

7.1.1. 接続設定の読込

保存した接続設定ファイルを読み込みます。
ファイルの拡張子は、XML のみ対応しています。

7.1.2. 接続設定の保存

現在の接続設定をファイルに保存します。
ファイルの拡張子は、XML 形式です。

7.1.3. 終了

WB1F Support Tool を終了します。

7.2. 機能

7.2.1. 接続設定

WB1F 形とパソコンを接続するための設定画面です。
ここではパソコン側の設定を行うことができます。
WB1F Support Tool の起動時は以下の接続設定画面を最初に表示します。



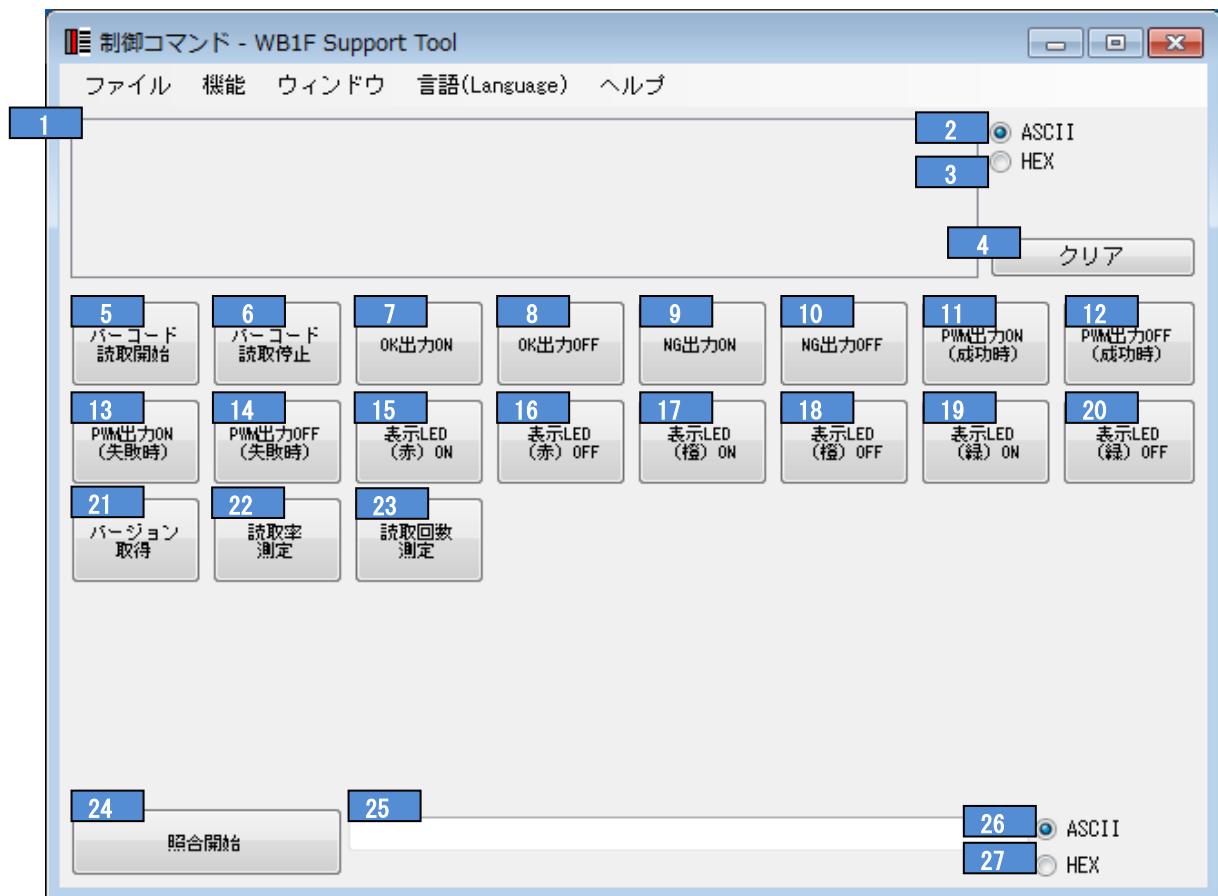
■ 画面の説明

No.	名称	説明
1	通信ポート	通信ポートを選択します。有効なポートを選択することができます。
2	通信速度	通信速度を設定します。
3	データ長	データ長を設定します。
4	パリティ	パリティビットを設定します。
5	ストップビット	ストップビットを設定します。
6	フロー制御	フロー制御(ハンドシェイク)を設定します。
7	プリフィックス	通信コマンドの先頭に付加する文字列を設定します。
8	サフィックス	通信コマンドの後尾に付加する文字列を設定します。
9	チェックディジット	設定コマンドに対して、チェックディジット付加の有無を設定します。
10	コンソール改行条件 1	コンソール画面に対して、改行を行う条件を設定します。コンソール改行条件 1 または、コンソール改行条件 2 を満した場合に改行を行います。
11	コンソール改行条件 2	
12	デフォルト設定	WB1F 形の工場出荷時の通信設定に戻します。
13	接続開始	WB1F 形とパソコンの接続を開始します。
14	自動接続開始	自動で WB1F 形とパソコンの接続を開始します。
15	メッセージ出力 1	選択している項目の説明を表示します。
16	メッセージ出力 2	自動接続開始時に、通信結果および通信設定を表示します。

7.2.2. 制御コマンド

WB1F 形に制御コマンドを送信する画面です。

ここではWB1F形をバーコード読取、表示LEDの点灯や消灯などの動作を実行することができます。



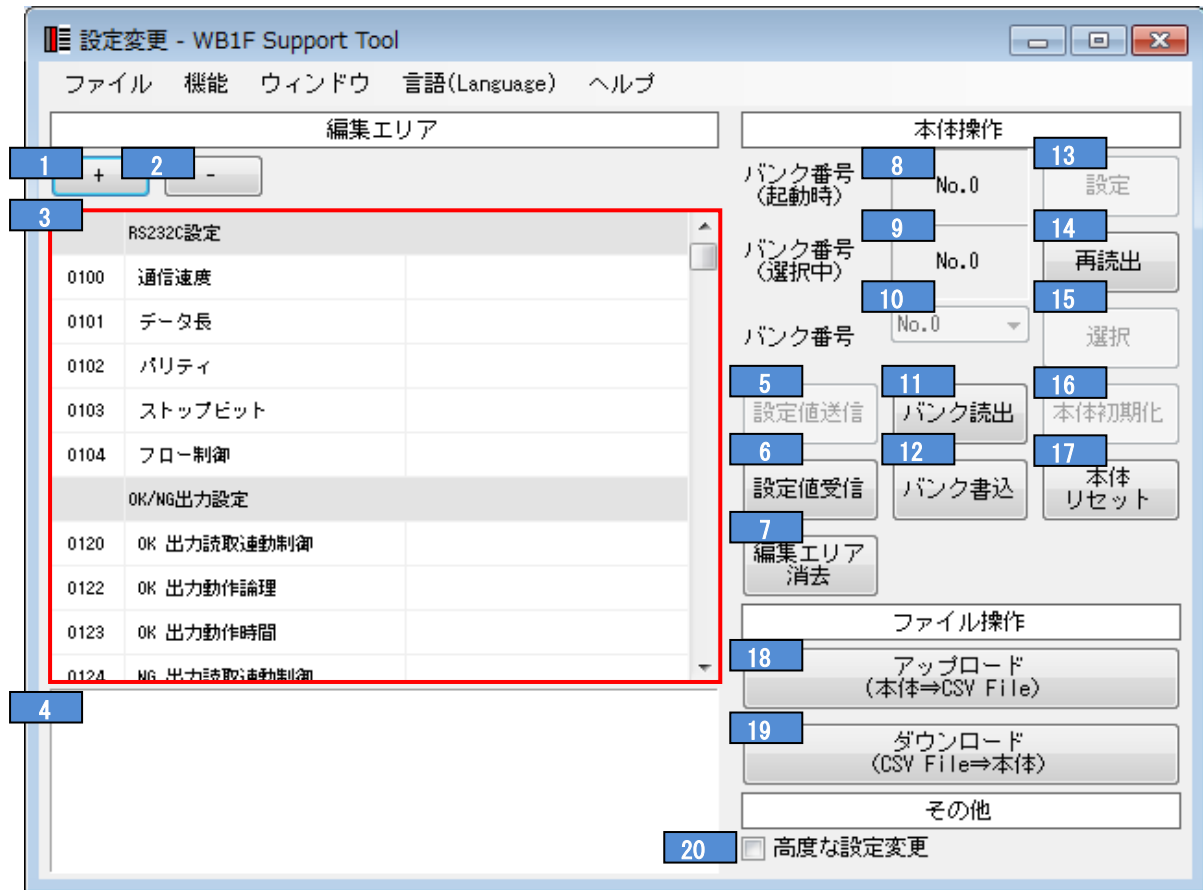
■画面の説明

No.	名称	説明
1	通信モニタ	通信の要求および応答を表示します。青文字:要求 赤文字:応答
2	ASCII	通信モニタを ASCII 表示にします。
3	HEX	通信モニタを 16 進数表示にします。
4	クリア	通信モニタをクリアします。
5	バーコード読取開始	バーコードを読取開始します。
6	バーコード読取停止	バーコードを読取停止します。
7	OK 出力 ON	OK 出力を ON します。(RS-232 タイプのみ)
8	OK 出力 OFF	OK 出力を OFF します。(RS-232 タイプのみ)
9	NG 出力 ON	NG 出力を ON します。(RS-232 タイプのみ)
10	NG 出力 OFF	NG 出力を OFF します。(RS-232 タイプのみ)
11	PWM 出力 ON (成功時)	読取成功時の PWM 出力を ON します。(RS-232 タイプのみ)
12	PWM 出力 OFF (成功時)	読取成功時の PWM 出力を OFF します。(RS-232 タイプのみ)
13	PWM 出力 ON (失敗時)	読取失敗時の PWM 出力を ON します。(RS-232 タイプのみ)
14	PWM 出力 OFF (失敗時)	読取失敗時の PWM 出力を OFF します。(RS-232 タイプのみ)
15	表示 LED(赤) ON	表示 LED(赤)を ON します。点灯時間は設定値に従います。
16	表示 LED(赤) OFF	表示 LED(赤)を OFF します。
17	表示 LED(橙) ON	表示 LED(橙)を ON します。点灯時間は設定値に従います。
18	表示 LED(橙) OFF	表示 LED(橙)を OFF します。
19	表示 LED(緑) ON	表示 LED(緑)を ON します。点灯時間は設定値に従います。
20	表示 LED(緑) OFF	表示 LED(緑)を OFF します。
21	バージョン取得	WB1F 形のファームウェアバージョンを取得します。
22	読取率測定	バーコードの読取 100 回ごとに、読取成功率を出力します。
23	読取回数測定	バーコードの連続読取回数を出力します。
24	照合開始	マスターデータの逐次入力を開始します。
25	マスターデータ入力欄	マスターデータを入力します。
26	ASCII	マスターデータを ASCII 表示します。
27	HEX	マスターデータを 16 進数表示にします。

7.2.3. 設定変更

WB1F 形の設定の確認・変更を行う画面です。

ここでは WB1F 形の読取動作やデータの出力方法など、動作を詳細に設定することができます。



■画面の説明

・編集エリア

No.	名称	説明
1	+	設定項目一覧に大項目と小項目を表示します。
2	-	設定項目一覧に大項目のみ表示します。
3	設定項目一覧	WB1F 形の設定の確認・変更を行うことができます。詳細は、ユーザーズマニュアルの設定項目一覧をご確認ください。
4	メッセージ出力	設定項目の説明を表示します。

・ 本体操作

No.	名称	説明
5	設定値送信	変更した設定値を WB1F 形に反映します。
6	設定値受信	WB1F 形に設定されている設定値を画面に表示します。
7	編集エリア消去	画面に表示されている設定値を画面から消去します。
8	バンク番号表示 1	起動時に選択されるバンク番号を表示します。
9	バンク番号表示 2	現在選択中のバンク番号を表示します。
10	バンク番号選択	バンク番号を選択します。(高度な設定変更が有効時)
11	バンク読出	バンク番号表示 2 で選択されているバンクの設定値を読み出します。
12	バンク書込	バンク番号表示 2 で選択されているバンクに設定値を書き込みます。
13	設定	バンク番号表示 2 で選択されているバンクを起動時のバンクに設定します。 (高度な設定変更が有効時)
14	再読出	選択されているバンクを再度読み出します。本体リセットにより、現在選択されているバンクがわからなくなった場合に使用します。
15	選択	No. 10 “バンク番号選択” で選ばれているバンクを、バンク番号表示 2 に確定します。(高度な設定変更が有効時)
16	本体初期化	WB1F 形を工場出荷状態に戻します。
17	本体リセット	WB1F 形の電源をリセットします。

・ ファイル操作

No.	名称	説明
18	アップロード	WB1F 形の全ての設定値を CSV ファイル形式にアップロードします。
19	ダウンロード	アップロードで作成した CSV ファイルを WB1F 形にダウンロードします。

・ その他

No.	名称	説明
20	高度な設定変更	チェックを入れることで、バンク番号の切り替えや本体初期化ができるようになります。

バンクとは、設定値を保存する領域です。また、WB1F 形はバンクを 8 つ持っています。

No. 0～No. 7 のバンクにそれぞれ設定値を設定することができ、最大 8 パターンの設定を切り替えて使用することができます。

設定値の受信・送信手順、バンク番号(選択中・起動時)の切り替え手順は以下の通りです。

■ 設定値の受信手順

① [設定値受信 (No. 6)] ボタンをクリック。[バンク番号表示 2 (No. 9)] に表示されているバンクの設定値をパソコン上に表示します。

■ 設定値の送信手順

① 設定値の受信後、編集エリアで設定値を編集します。

② 編集完了後、[設定値送信 (No. 5)] ボタンをクリック。WB1F 形に設定値が反映されます。

③ [バンク書込 (No. 12)] ボタンをクリックすると、現在選択中のバンク番号に設定値を書き込みます。

※ご注意：③を行わずに、WB1F 形の電源を OFF すると、設定変更が WB1F 形に反映されません。また、RS-232 設定項目に関しては、[バンク書込] 後、本体リセットすることで設定値が反映されます。

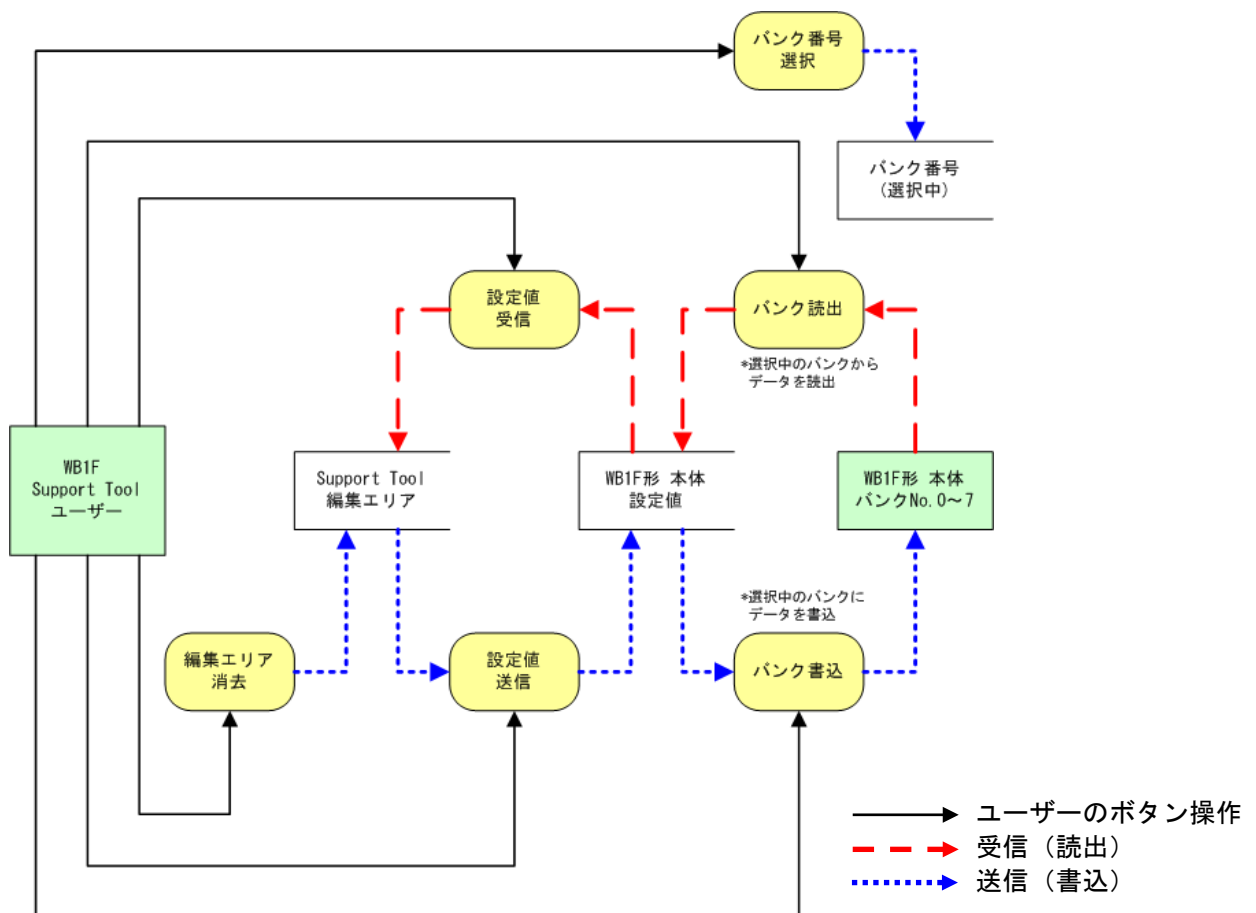
■バンク番号（選択中）の切り替え手順

- ① [高度な設定変更 (No. 20)] にチェックを入れます。
- ② [バンク番号選択 (No. 10)] で変更したいバンクを選択します。
- ③ [選択 (No. 15)] ボタンをクリック。[バンク番号表示 2 (No. 9)] に②で選択したバンク番号を確定します。
- ④ [バンク読出 (No. 11)] ボタンをクリック。選択したバンクに切り替えます。

■バンク番号（起動時）の切り替え手順

- ① [高度な設定変更 (No. 20)] にチェックを入れます。
- ② [バンク番号選択 (No. 10)] で変更したいバンクを選択します。
- ③ [選択 (No. 15)] ボタンをクリック。[バンク番号表示 2 (No. 9)] に②で選択したバンク番号を確定します。
- ④ [設定 (No. 13)] ボタンをクリック。[バンク番号表示 1 (No. 8)] に②で選択したバンク番号を確定します。
- ⑤ 次回起動時は、[バンク番号表示 1 (No. 8)] に表示されているバンク番号で起動します。

設定値の受信・送信、バンクの切り替えの概念図を以下に示します。

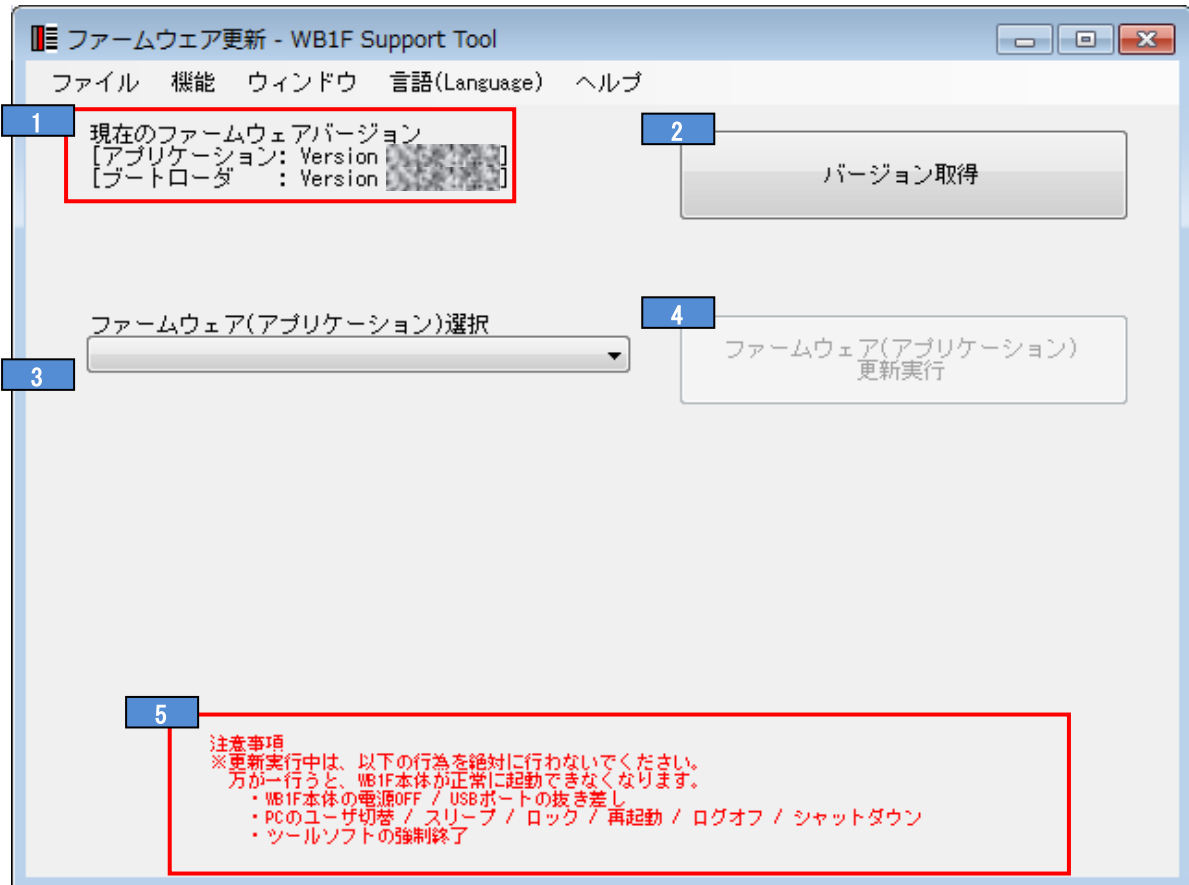


7.2.4. ファームウェア更新

WB1F 形のファームウェア更新画面です。

ファームウェアを更新することで、新機能に対応させたり、パフォーマンスや製品の信頼性を向上させたりすることができます。弊社では、WB1F 形を最新のファームウェアでご使用されることをお勧めしています。

また、ファームウェアは弊社 Web サイト (<http://www.idec.com/japan/>) で公開していますのでご確認ください。



■画面の説明

No.	名称	説明
1	バージョン確認	WB1F 形のバージョンを確認することができます。
2	バージョン取得	WB1F 形のバージョンを取得することができます。
3	ファームウェア選択	更新したいファームウェアを選択してください。
4	更新実行 ^{*1}	ファームウェアの更新を開始します。
5	注意事項 ^{*2}	本機能の注意事項を記載しています。

*1 [更新実行 (No. 4)] は、更新したいファームウェアを選択することで有効になります。

*2 [注意事項 (No. 5)] をご留意の上、ファームウェアの更新を行ってください。

ファームウェア更新方法

※ご注意：ファームウェアを更新すると、WB1F 形の設定値は全て工場出荷状態に戻ります。必要に応じて、設定変更画面から設定値のアップロード作業をお願いします。(P.16 7.2.3 設定変更を参照してください。)

ファームウェアの更新方法は以下の通りです。

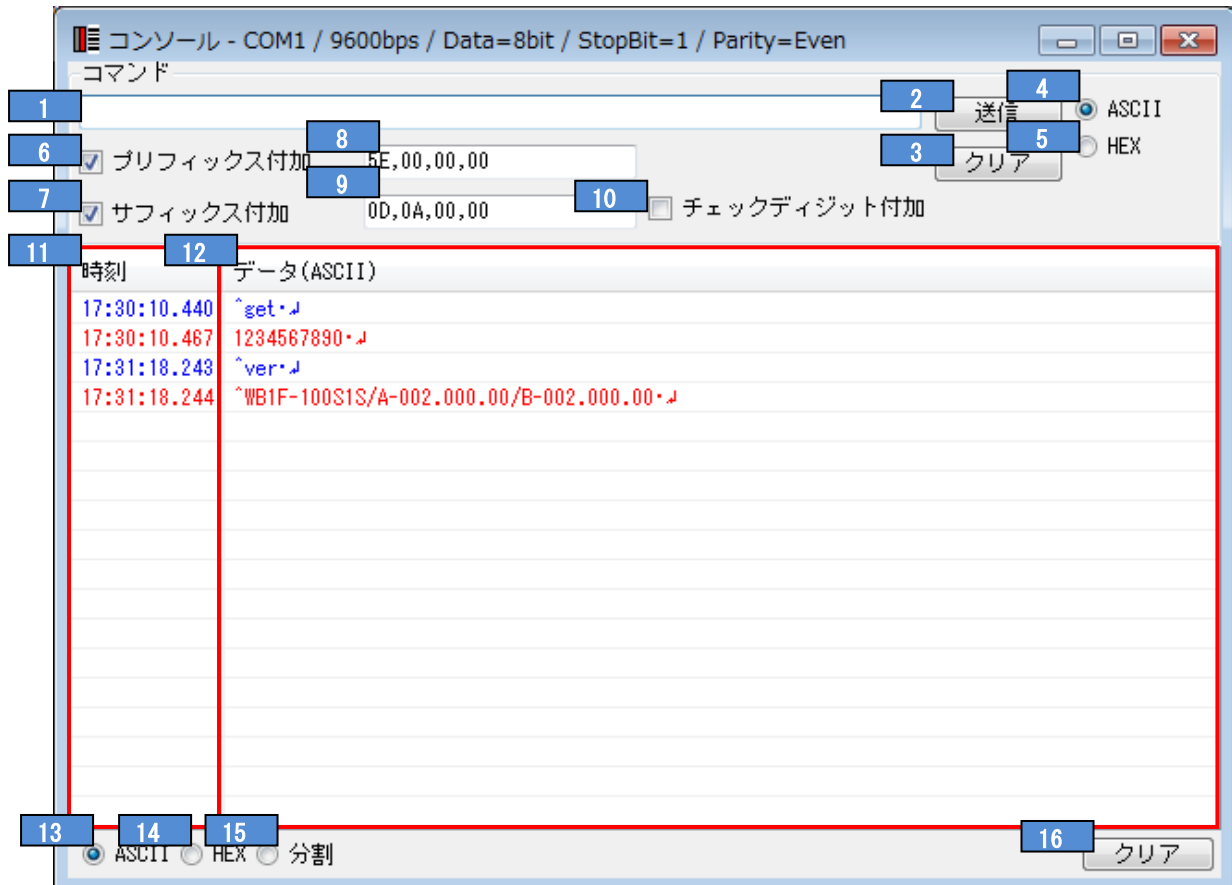
- ① [ファームウェア選択 (No. 3)] で更新したいファームウェアを選択します。
- ② [更新実行 (No. 4)] をクリックします。
- ③ ファームウェアの更新が開始されますので、画面の指示に従って操作してください。

7.3. ウィンドウ

7.3.1. コンソール

コンソール画面を開きます。

この画面はご自身でコマンドを入力したい場合や、詳細な通信の確認を行いたい場合に使用します。



■画面の説明

No.	名称	説明
1	コマンド入力欄	任意のコマンドを入力します。
2	送信	コマンド入力欄の文字列を送信します。
3	クリア	コマンド入力欄の文字列をクリアします。
4	ASCII	コマンド入力欄を ASCII で入力します。
5	HEX	コマンド入力欄を 16 進数で入力します。
6	プリフィックス付加	通信コマンドのプリフィックスを自動的に付加します。
7	サフィックス付加	通信コマンドのサフィックスを自動的に付加します。
8	プリフィックス入力欄	設定されているプリフィックスを入力します。
9	サフィックス入力欄	設定されているサフィックスを入力します。
10	チェックディジット付加	コマンドにチェックディジットを付加します。
11	時刻	通信の要求および応答の時刻を表示します。青文字:要求 赤文字:応答
12	通信モニタ	通信の要求および応答を表示します。青文字:要求 赤文字:応答
13	ASCII	通信モニタを ASCII で表示します。
14	HEX	通信モニタを 16 進数で表示します。
15	分割	通信モニタを ASCII および 16 進数で表示します。
16	クリア	通信モニタをクリアします。

7.4. 言語

7.4.1. 日本語

WB1F Support Tool の表示言語を日本語にします。

7.4.2. English(英語)

WB1F Support Tool の表示言語を英語にします。

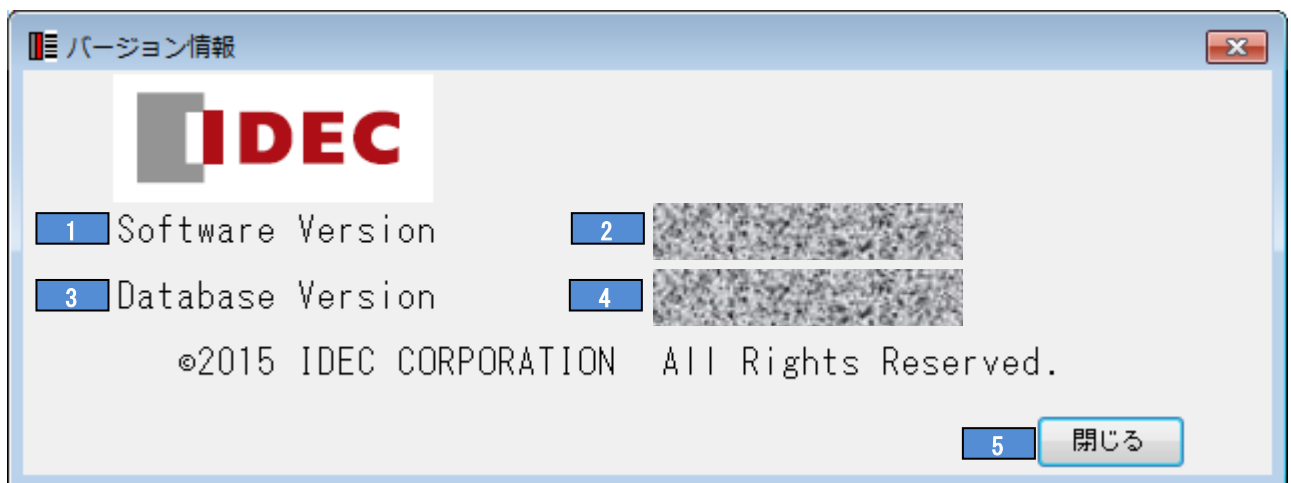
7.5. ヘルプ

7.5.1. ユーザーズマニュアル

WB1F Support Tool のユーザーズマニュアル(本マニュアル)を開きます。

7.5.2. バージョン情報

バージョン情報を表示します。
バージョン情報画面は以下の通りです。



■画面の説明

No.	名称	説明
1	Software Version	バージョンの名称です。
2	バージョン表示 1	Software Version を表示します。
3	Database Version	バージョンの名称です。
4	バージョン表示 2	Database Version を表示します。
5	閉じる	バージョン情報画面を閉じます。

8. トラブルシューティング

WB1F Support Tool を使用中に問題が発生した場合、以下のことを確認してください。
問題が解決できない場合は、技術問い合わせ窓口までご相談ください。

WB1F Support Tool と送受信できない

- WB1F 形と WB1F Support Tool の通信条件は一致していますか。

WB1F Support Tool の接続設定画面を開き、通信条件を確認してください。

WB1F 形を接続している通信ポートが表示されない

- 正しく接続されていますか。

パソコンと WB1F 形が正しく接続されているか確認してください。

- デバイスマネージャーで通信ポートが認識されていますか。

デバイスマネージャーで WB1F 形が接続されている通信ポートを確認してください。

- USB タイプをご使用の場合、デバイスドライバーはインストールされていますか。

デバイスドライバーが正しくインストールされていることを確認してください。

- RS-232-USB 変換ケーブルを使用して RS-232 タイプを接続している場合、RS-232-USB 変換ケーブルのデバイスドライバーはインストールされていますか。

デバイスドライバーが正しくインストールされていることを確認してください。

- 上記を試した結果、解決しない場合

下記の手順を試してください。

1. WB1F Support Tool を一度終了してください。
2. WB1F 形の電源を入れ直してください。(一旦電源を OFF してから、電源を ON してください。)
3. WB1F Support Tool を起動してください。

WB1F 形の通信設定 (通信速度・データ長など) がわからなくなったためツールソフトと接続できない

- 接続設定画面にて、WB1F 形が接続されている通信ポートを選択後、「自動接続開始」をクリックしてください。

WB1F 形に設定されている通信設定を自動的に探します。
多少時間がかかる場合 (最大: 約 1 分 30 秒) があります。

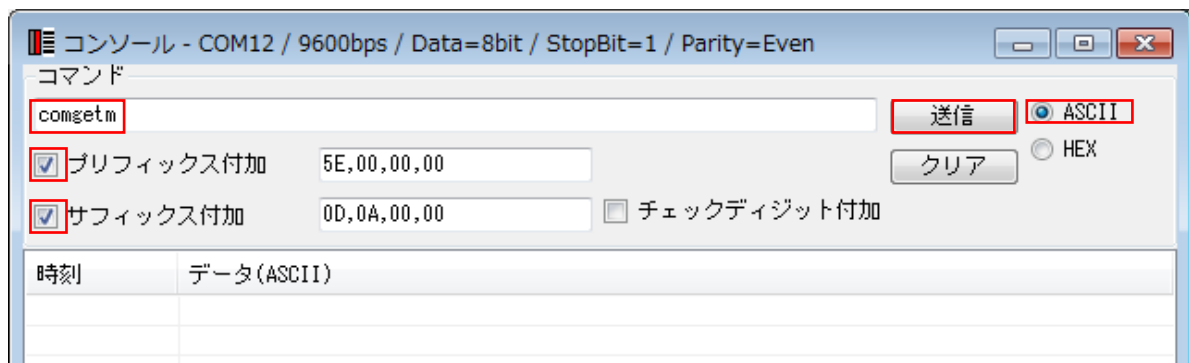
- メンテナンスモードから通信設定を確認する。

1. メンテナンスモードに入ります。(WB1F 形本体のユーザーズマニュアルを参照してください。)
2. ツールソフトを立ち上げ、デフォルト設定にて [接続開始] をクリックします。

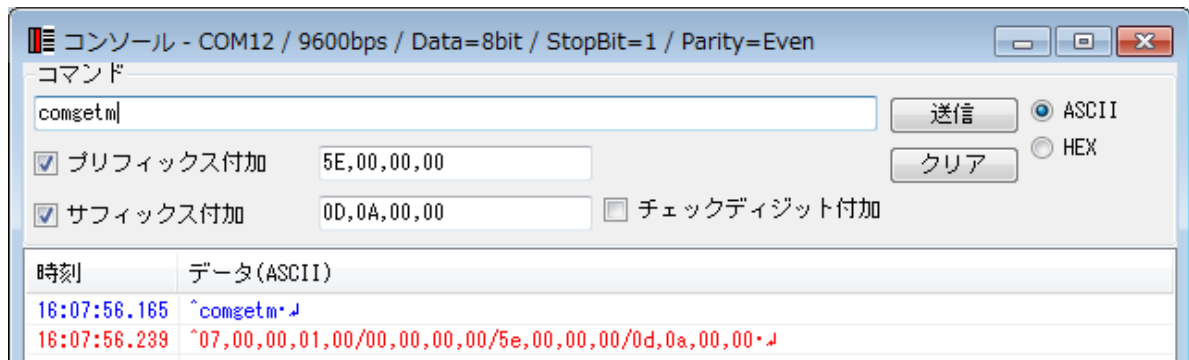
・デフォルト設定

通信速度	9600bps	フロー制御	無し
データ長	8	プリフィックス	5E, 00, 00, 00
パリティ	EVEN	サフィックス	0D, 0A, 00, 00
ストップビット	1	チェックディジット	無し

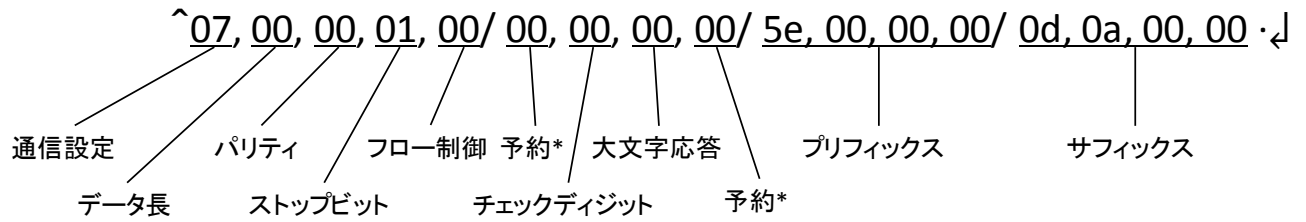
3. メニュー項目から [ウィンドウ] → [コンソール] を選択し、コンソール画面を立ち上げます。
4. コマンド “comgetm” を入力し、[送信] をクリックします。
(この時、プリフィックス付加・サフィックス付加のみにチェックを入れます。)



5. 応答結果 (赤字) から WB1F 形に設定されている通信設定を確認します。



応答結果の形式



* 予約とは使用していない領域であり、常に“00”が入っています。

応答結果の形式から各項目の設定値を比較すると、以下の表ようになります。

項目	設定値	詳細設定値	項目	設定値	詳細設定値
通信速度	07	115200 bps	チェックディジット	00	無効
データ長	00	7 bit	大文字応答	00	無効(小文字)
パリティ	00	NONE	プリフィックス	5e, 00, 00, 00	^
ストップビット	01	2 bit	サフィックス	0d, 0a, 00, 00	[CR][LF]
フロー制御	00	なし			

※WB1F 形本体ユーザーズマニュアルを参考に、設定値から詳細設定値をそれぞれ確認してください。

- WB1F Support Tool を終了してから、WB1F 形の電源を OFF します。
- WB1F 形の電源を ON してから、WB1F Support Tool を起動します。
- 接続設定画面にて、5. で判明した詳細設定値を設定してから[接続開始]をクリックします。
※この時、大文字応答は使用しません。

9. 付録

9.1. アスキーコード表

文字	16進数	文字	16進数	文字	16進数	文字	16進数
NUL	00	SP	20	@	40	`	60
SOH	01	!	21	A	41	a	61
STX	02	"	22	B	42	b	62
ETX	03	#	23	C	43	c	63
EOT	04	\$	24	D	44	d	64
ENQ	05	%	25	E	45	e	65
ACK	06	&	26	F	46	f	66
BEL	07	'	27	G	47	g	67
BS	08	(28	H	48	h	68
HT	09)	29	I	49	i	69
LF/NL	0A	*	2A	J	4A	j	6A
VT	0B	+	2B	K	4B	k	6B
FF/NP	0C	,	2C	L	4C	l	6C
CR	0D	-	2D	M	4D	m	6D
SO	0E	.	2E	N	4E	n	6E
SI	0F	/	2F	O	4F	o	6F
DLE	10	0	30	P	50	p	70
DC1	11	1	31	Q	51	q	71
DC2	12	2	32	R	52	r	72
DC3	13	3	33	S	53	s	73
DC4	14	4	34	T	54	t	74
NAK	15	5	35	U	55	u	75
SYN	16	6	36	V	56	v	76
ETB	17	7	37	W	57	w	77
CAN	18	8	38	X	58	x	78
EM	19	9	39	Y	59	y	79
SUB	1A	:	3A	Z	5A	z	7A
ESC	1B	;	3B	[5B	{	7B
FS	1C	<	3C	\	5C		7C
GS	1D	=	3D]	5D	}	7D
RS	1E	>	3E	^	5E	~	7E
US	1F	?	3F	_	5F	DEL	7F

制御文字

空白文字

改訂履歴

版数	発行	改訂内容	
		ページ	ポイント
初版	2015. 02	－	－
第 2 版	2015. 04	18	ファームウェア更新画面の説明 追加
		20	表示言語 英語に対応
		21	トラブルシューティング 追加
		24	付録（アスキーコード表）追加
第 3 版	2016. 03	5	バージョンアップ情報 追加
		14, 15	7. 2. 2. 制御コマンド 画面の説明の追記
		19	ファームウェア更新時の注意事項 追記
第 4 版	2016. 12	5	バージョンアップ情報の追記
第 5 版	2017. 07	5	バージョンアップ情報の追記
第 6 版	2018. 03	5	バージョンアップ情報の追記

IDEC株式会社

〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2-6-64

 www.idec.com/japan

 **0120-992-336** 携帯電話・PHSの場合 050-8882-5843

東京営業所 〒108-6014 東京都港区港南2-15-1(品川インターシティA棟14F)
名古屋営業所 〒464-0850 名古屋市千種区今池4-1-29(ニッセイ今池ビル)
大阪営業所 〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2-6-64
広島営業所 〒730-0051 広島市中区大手町4-6-16(山陽ビル)
福岡営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3-1-1(ノーリツビル福岡)

- 記載されている社名及び商品名は、各社の登録商標です。
- 仕様、その他記載内容は予告なしに変更する場合があります。

